



# Eジャーナルしずおか

平成24年(2012年)  
6月5日  
火曜日  
第94号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

## 進化する中高一貫教育

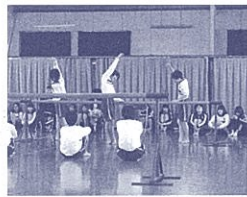
### 清水南高校・同中等部

互いの理解を深め、他者との人間関係づくりにも大いに役立っています。

#### グローバルな人間に

本校の特色ある授業「表現」  
本校中等部には、全国でも珍しい特別な授業があります。音楽・美術・体育のそれぞれの良さを生かした「合科授業」です。  
入学すると体を使った表現活動から始まり、合唱練習(音楽表現)、言語表現(造形表現等の基本的な学習を行います。2年になると「歌いながら曲に合わせて踊る」応用的な内容も加わり、大型鏡の前で自分たちの姿を確認しながら、熱心に表現力を磨きます。そして、3年では、文化祭で

この「表現」における学習は、作品を制作する過程で友人と協力し、お互いの理解を深め、他者との人間関係づくりにも大いに役立っています。



中等部の目玉授業「表現」

本校で特色あるのは、国際社会で貢献できる人材を育成するため、中高6年間で2度の海外研修旅行(韓国、パリ)を行います。見識を広める貴重な経験を積むことができます。

高校生の技術を盗め！  
併設型中高一貫教育では、いくつかの部活動において一緒に活動(合同練習)ができます。管弦楽などの文化部では、高い技術指導を共有し、運動部では、高校生の迫力あるプレーに刺激を受けたり、技術を盗むこともできます。

身近な良きアドバイザー  
中等部の生徒にとって、高校生との交流は、学校生活を充実させ、早い時期からの将来に対する目標設定や展望を具体的にイメージする良い機会となっています。



合同練習をする部活動(ラグビー部)

なかでも、本校のラグビー部は、過去に13回、花園(全国大会)に出場できるような選手が育つてくれることを期待しています。

発展期	充実期	基礎期
高校2・3年	中等部3年・高校1年	中等部1・2年
自己実現のために興味・関心や進路希望に応じて科目を選択し、発展的な学習を行う	主体的に学ぶ習慣を確立して、学習内容の深化を図り、思考・表現力を深める	集団行動の中で豊かな人間性を育み、互いに尊重し合える学習集団の形成を目指す

合同練習を行っており、体の大きな先輩の胸を借りながら、技術的にも精神的にも大きく成長しています。恵まれた練習環境の中、将来、静岡県を代表して全国大会で活躍できるように選手が育つてくれることを期待しています。

内容を紹介いたします  
国語 今、求められている国語の能力を身に付けさせる重要な鍵「言語活動の充実」に焦点を当て、理論及び全領域の具体的な単元計画を示しました。社会 「身に付けさせた力」が明確になるよう、授業展開例、美術館との連携情報など、写真・イラスト・図を用いて分かりやすく示しました。

音楽 身に付けさせたい力に対応した具体的な学習活動や評価規準等の具体例を示し、目標と活動との関連を明確にしました。

「授業づくり指針」が完成  
授業づくりの応援アイテム「静岡県の授業づくり指針」、活用していただけますか？  
昨年度完成した小学校版に加え、今年度は中学校版が完成し、9教科の

このようにときに役立ちます！  
学習指導要領の目標や内容について理解を深めたいとき  
・指導計画を作成するとき  
・指導のポイントを具体的に把握したいとき  
・静岡県の子どもの実態に合った授業を構想したいとき など  
この他にも、様々な使い方が可能です。よりよい授業を目指して、日々御活用ください。

家庭では、小中の体系化を柱とした具体的な授業展開例や、授業で活用できる資料などを紹介し、専門外の教員にも使い易いものとなりました。

9教科10冊の指針ができました

## 教育という職の素晴らしさ

Vol.1

教育に携わるとは何か。この職に就こうと決めたあの日の思いを忘れないように。今一度、確認しよう。教育という職の持つ責任、使命感、そして素晴らしさ。今月号から、教職の素晴らしさを再認識する取組などを紹介していきます。

### 今こそ原点を

県教育委員会事務局参事兼学校教育課長 田中 潤



#### 出会いが原点

毎年桜の咲く4月、私たちは、多くの子どもたちや保護者と出会います。学校生活への期待や夢、願いなどを受け止めて、保護者から託された子どもたちのために、力の限りを尽くそうと決意を新たにします。責任の重さを感じるからこそ、やりがいや誇りをしみじみとかみ締めることができます。

#### 笑顔を描いて

初めて中学校で担任をさせていただいたときのことを、よく覚えています。子どもたちに、礼は心を形にしたもので、授業は礼に始まり、礼に終わること、「お願いします」、「ありがとうございます」の挨拶には心を込めたいと話しました。素直で明るい1年生との毎日は新鮮です。一月くわい経った頃、授業の終わりを待って、背を押されるように質問に来る子どもがいました。手にしていた教科書をのぞくと、思わず胸が詰まりました。涙でこぼれた予習の跡があります。礼に応えられる教師にならなくてはと肝に銘じる瞬間でした。

その後は、子どもたちの理解に至るまでの思考の道筋を様々な考え、分かれる楽しい授業づくりにいそむことが生活の中心となりました。子どもたちの笑顔は、私たちの喜びであり、元気の源です。多忙中であっても、子どもたちの笑顔を描いて、努力を惜しんではいられません。子どもの笑顔を見るたびに、私たちが身を置く教職の意義を実感します。

#### 感謝の気持ち、切々と

最近、保護者の理不尽な言動が目立っていますが、実は感謝の言葉も多くなります。20年以上も年賀状のやり取りをする保護者もあると聞きます。数年前、何枚もの便箋にびっぴりと職員への感謝の思いが綴られた手紙が届きました。「悩みや不安を抱え、問題を起こしがちな我が子が、親としては戸惑うばかりで何もできませんでした。新たな目標を持って無事卒業できたのも、ひとえに先生方の親身な指導によるもので感謝の念に堪えません」という内容でした。

#### いつまでも先生

「先生来られますか」突然、同窓会の誘いがありました。私が20代後半に受け持った懐かしい顔ぶれです。国家公務員いれは教師もいます。歯科衛生士や銀行員など様々な道を立派に歩んでいます。反抗的な態度に手を焼いて、心を開き話し合える関係が築けなかった子どももいつの間にか世帯を構え、一人前の社会人です。そんな彼が「もつと真面目にやればよかった」と中学時代を振り返ります。私は力不足の自分を省みました。社会人となっても、子どもたちにとってはいつまでも先生です。教師冥利に尽きます。

御存知の方も多いと思いますが、最後に森信三先生の言葉を紹介して、本テーマに対する私の務めを終えたいと思います。「教育とは流れる水に文字を書くようなはかない仕事なのです。しかし、それをあたかも巖壁にのみで刻みつけるほどの真剣さで取り組まねばなりません。教師がおのれ自身、あかあかと命の火を燃やさずにおいて、どうして生徒の心に点火できますか。教育とはそれほどに厳粛で崇高な仕事なのです。民族の文化と魂を受け継ぎ、伝えていく大事な仕事なのです。」

「授業づくり指針」が揃いました。各教科版とも、学習指導要領の趣旨を反映させ、それぞれ特徴のある内容になっています。

家庭・技術・家庭 技術や活動例、安全教育に焦点を絞って示しました。



実践NOTE 107

# 心を育てる 食育を目指して 様々なつながりの中で

静岡市立久能幼稚園 教諭 長尾光恵



筆者(子どものついでに)

のプレゼントになります。  
心のつながりに

本園は、駿河湾に面した、園児28名の小規模園です。近くには、国宝に指定された久能山東照宮があり、石垣いちごで有名なハウスが隣接しています。

園では地域とのつながりを大切にしています。4月、保護者の招待でいちご摘みに出かけます。とてもおいしいいちごをたくさん食べ、お土産までいただき、園に戻ると早速ジャム作り。これは後でクッキングのジャムパンになります。



ハウスの中は甘い香りいっぱい(いちご摘み)

5月、東照宮の梅林に梅摘みに。梅摘みの後は石段を上って東照宮にお札を言いに行きます。たくさん梅は梅ジュースと梅干しに。これも、おにぎりの具と敬老会など

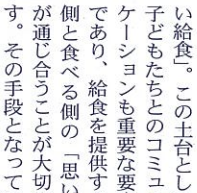


長〜いニンジンが獲れたよ!!

五感を通して  
感性を

昨年度から、園横の農園をお貸りし、成長を日々  
幼虫を見つけて歓声を揚げたり、青虫を蝶に育てたりもしました。また、草取りなど手間暇をかけることで、野菜への思いも膨らみます。大根の間引きでは、抜き菜をお味噌汁にして味わいました。

収穫では「そら豆の中つぶわふ



長〜いニンジンが獲れたよ!!

「安心・おいしい・楽しい給食。この土台として子どもたちとのコミュニケーションも重要な要素であり、給食を提供する側と食べる側の「思い」が通じ合うことが大切です。その手段となつてい

「給食メモ」で  
コミュニケーション  
「安心・おいしい・楽しい給食。この土台として子どもたちとのコミュニケーションも重要な要素であり、給食を提供する側と食べる側の「思い」が通じ合うことが大切です。その手段となつてい

「給食メモ」  
思いが通じ合う「給食メモ」  
一度細かくした  
らそれで終わり  
にせず、魚の型  
に入れて魚の形  
に整えたり、い  
んげんや人参を  
使って彩り良く  
飾り付けをする。  
飾り付けをする。  
飾り付けをする。  
飾り付けをする。

目にながら、作物の栽培ができるようになりま  
した。園では栽培活動  
の中で感性と自主性を育  
たいと考えています。  
今、種から育てたとう  
もろこしなどが大きくな  
っています。野菜が生長  
する時間の長さを感じて  
ほしいと思ひ、栽培物は  
なるべく種から育てます  
土との触れ合いの中で、  
幼虫を見つけて歓声を揚  
げたり、青虫を蝶に育て  
たりもしました。また、草  
取りなど手間暇をかける  
ことで、野菜への思いも  
膨らみます。大根の間引  
きでは、抜き菜をお味噌  
汁にして味わいました。

食育の活動を通して、  
生活の中で様々な実体験  
をつなげていくことで、  
感性や自主性が育ち、食  
べる意欲につながってい  
くことを感じています。  
また、人とのつながりが  
優しさなどの心の育ちに  
つながっていくように思  
います。

## つながりの中で



ほくが育てたさつま芋、おいしい?(茶巾絞り)



「おばあちゃん、梅干しどうぞ」敬老会でプレゼント

「カリフラワーどうやって食べる?」と聞く、「スプーンがいい」とのこと。月1回、お昼ご飯を作るクッキングでも、子どもたちの意見を取り入れていきます。自分たちで決め、作ったものは格別おいしくて、嫌いな野菜を食べることができるようになる子どももいました。

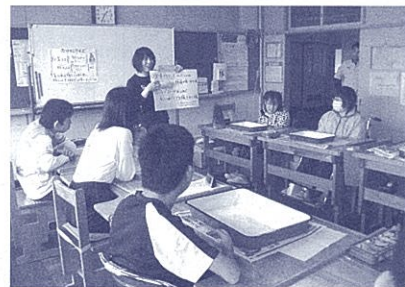
## 子どもが主役

わしてる」「しそっていい匂い」など、様々なことを感じた子どもたちです。時間をゆつたりと確保することで、たくさん発見もしていきます。

実践NOTE 108

# 食べる「食」は 生きる「食」

静岡県立東部特別支援学校 栄養士 齋藤晃子



たけのこの皮をむく前に…「たけのこクイズ!」

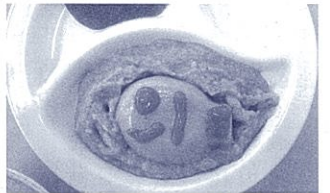
「給食メモ」  
には、使用した食材や料理の情報、調理のポイントなど、栄養士が献立に込めた「思い」を載せています。毎日給食時間に各教室へ配布し、子どもたちが音読した食材や料理の情報を載せています。毎日給食時間に各教室へ配布し、子どもたちが音読した食材や料理の情報を載せています。毎日給食時間に各教室へ配布し、子どもたちが音読した食材や料理の情報を載せています。

「自分でむいた筍、おいしかった!」「高等部さんがむいてくれたんだよ」「わあ、すごい!」  
給食の下準備も兼ねて、地元の新鮮な食材に触れる学習にも取り組んでいます。麻痺や緊張がありながらも、初めて見せる、無理せず安心して食べられることが重要です。

## 舌で、目で、耳で、楽しむ再調理

本校では、かんだり飲み込んだりするために苦手な子どもたちのために出来上がった料理を細かくしたり、ペースト状にし、とろみやまとまりを付け食べやすくしたりといった再調理も行っています。再調理された給食を「食べる」楽しいと感じさせるためには、お手先の動きや集中力に、やり遂げた達成感や喜び、人の役に立つ経験などを通して、物事に挑戦する意欲を高めることにつながります。食育の枠を超えたキャリア教育の一環としても、有意義な取組となつています。

「自分でむいた筍、おいしかった!」「高等部さんがむいてくれたんだよ」「わあ、すごい!」  
給食の下準備も兼ねて、地元の新鮮な食材に触れる学習にも取り組んでいます。麻痺や緊張がありながらも、初めて見せる、無理せず安心して食べられることが重要です。



鮭のチャンチャン焼きの再調理(細かくした鮭を魚の形に)

「自分でむいた筍、おいしかった!」「高等部さんがむいてくれたんだよ」「わあ、すごい!」  
給食の下準備も兼ねて、地元の新鮮な食材に触れる学習にも取り組んでいます。麻痺や緊張がありながらも、初めて見せる、無理せず安心して食べられることが重要です。

## 不登校やニート等の 合同相談会&講演会

不登校・ニート、ひきこもり、発達障害等や御本人、ご家族、教職員を対象に、民間支援団体と公的支援機関による合同相談会、講演会を開催します。

テーマ「不登校・ニート等の支援と理解」学習支援、就労支援、居場所づくり」

日程・会場  
8/6(月)三島市民文化会館  
8/9(木)アクトシティ浜松  
8/10(金)男女共同参画センター(あおぞら)

時間(3会場共通)  
10時~13時 講演会  
10時30分~12時 相談会  
13時15分~15時 相談会

講師  
8/6 小林将元さん(NPO法人アクトシティ浜松)  
8/9,10 高塚雄介さん(明星大学教授)

※参加費は全て無料です。お申し込みは、全日程ではなく「講演会のみ」相談会のみも参加可  
問合せ 社会教育課総務課企画班  
054(22)13160

来てみませんか?  
あすなろの研修  
幼児期の  
理解と対応  
幼児の発達特性についての理解を深め、幼児とよりよいコミュニケーションスキルを習得を目指す。講師 千葉大学教育学部 教授 富田久枝氏  
幼稚園教諭・教頭として20年勤務。実践に基づいた講演・演習は、「具体的に分かりやすい」と評判です。

「幼児期の子どもの発達を捉えたい」という保育者必読の書  
「1よりよい保育をめざして」  
「1よりよい保育をめざして」  
「1よりよい保育をめざして」

「1よりよい保育をめざして」  
「1よりよい保育をめざして」  
「1よりよい保育をめざして」



# 今日から実践してみませんか? 発達障害等のある生徒への 高校生活における支援のヒント

今回は、静岡大学教職大学院の特任教授で、「発達障害児応援団NPOぱく」で熱心に支援に取り組んでいる今泉依子先生に、高校生活における支援について教えていただきます。

## うれしいおたより

この春、高校進学を巡っていくつかうれしいお便りをいただきました。小・中学校時代に保護者や教師から「気になる子」と言われたあの子たちが高校生になります。

読み書きに苦戦していたLD(学習障害)がある子に「自分はどんな子だと思う?」と聞いてみました。「頑張り屋」と笑顔で答えてくれました。高校でも良い支援を受けられますように…

中・高校段階、とりわけ通常学級での支援に悩む教師は多くいます。背景には、思春期を迎え他者との違いに敏感になる生徒側の事情もあります。だからこそ、「特別には見えないナチュラルサポート」と「自分の特徴を生かす方法を知る機会」の両者が必要になってきます。

発達障害等のある生徒や保護者からの話を基に、学校生活における支援のヒントを紹介いたします。

## わかる伝え方を

発達障害の生徒に、誰に支えられたと感じているのかを聞くと、部活の顧問や担任の存在は大いようです。ただし、「叱られること」や「頑張れと熱く励まされる」ことに困惑している生徒もいます。何をすればいいのか伝わっていないことに教師が気付いていないまま、叱責・指導が続く場面をしばしば見かけます。

彼らが他者の助言を受け入れて行動するには、①最初に、注意すべきポイントがいくつあるかを数字で示し、キーワードを明確にして話す(注意記憶の弱さへの配慮)、②行動モデルを見せる(想像力の弱さへの配慮)、③書きながら説明するなど効果が上がることがあります。

その上で、「今のやり方がいいね」「なぜうまくやれたのかな?」などと肯定的に聞くと、「自分の特徴を生かす方法を知る機会」につながっていきます。

## テストアコモデーション

大学入試センター試験でも発達障害への配慮が明記される時代背景の中、テストアコモデーション(テストでの合理的配慮)を試した中学校もあります。

たとえば、テストの問題文にふりがなを振る(読みの弱さへの配慮)、解答欄を大きくする(不器用さ等書くことへの配慮)、問題文の次に解答欄を作る(視覚的な探索の弱さへの配慮)などです。これらを工夫するだけで力が出せる生徒がいます。でも、まずは、彼らだけへの特別な配慮ではなく、誰もが受けられるナチュラルサポートであることがポイントでしょう。その上で、「きみは○○だとうまくやれるね」のさりげない一言が大事です。

## 当たり前の工夫

先生たちが気付いていない配慮が効果を上げていることも多くあります。たとえば、指示の出し方(注意喚起後の復唱)、つぶやきをつなぐ言い換え(イメージの共有)、見える化などです。効果を実感できないと言う声も聞きますが、案外先生たちの配慮は伝わっているものです。

みなさんも今日からできるちょっとした支援に取り組んでみませんか。県教育委員会では、各高校における支援の取組を充実させるために「教職員向け啓発リーフレット」「生徒向けソーシャルスキルトレーニング教材」を作成中です。【学校教育課高校再編整備室】

種を入れたえさ場には、リスがよくやって来ます。愛くるしい姿でえさを食べながら、ガラス越しに私たちの仕事ぶりをのぞいていきます。リスが食事を終えたと、次は「待つていまして」とばかりに、たくましの野鳥がえさを食べに来ます。

山の村は、この頃から活気付いてきます。高校へ入学して間もない、少し緊張気味の1年生が宿泊訓練で来所し、集団行動・校歌練習・レクリエーション等を行います。5月になると、中学生の宿泊訓練に入れ替わります。間伐、枝打ち、薪作りなどの体験学習、ハイキング、ウォークラリーなどの野外活動、薪を使った炊飯活動も行います。山の村の職員一同、富士山麓の大自然の心豊かな人間の育成のために、各種活動の支援や集団生活で使用する施設を入念に整備し、利用者が安全・快適・充実した研修ができるように努力をしています。

自然観察に加えて、新たに、富士宮東高校のオーケストラ部による「森の中のコンサート」を行いました。木造の多目的ホールに響き渡る管弦楽の音色が、ガラス越しに見える木々、窓から差し込む秋の日差しと調和し、とてもすばらしい雰囲気の中で音楽を鑑賞することができました。今年も10月21日(日)に「森の中のコンサート」を含めて同様の内容で「山の村たいけん」を行う予定です。深まる秋の一日を山の村で過ごし、富士山麓の豊かな自然を満喫してはいかがでしょうか。

## 若者の就労・進学支援のために 一人だけ・家族だけで悩まないで 地域若者サポートステーションはままっつ

総括コーディネーター 久米典子



個別相談(奥が筆者)

所では行っています。

## 「サポステはままっつ」

平成23年度、地域若者サポートステーションはままっつ(以下「サポステはままっつ」)が厚生労働省の委託事業としてスタートしました。当所では、働くことや進路については、働くことや進路については悩みを抱えている若者が就労や就学に向かえるよう専門家が支援しています。対象となるのは、概ね15〜39歳です。御家族の相談も受け付けています。

「サポステはままっつ」では、一人一人に合わせた支援をするために、キャリア・コンサルティング等の専門家が個別に相談を行い、利用者に合わせた支援メニューを考えています。相談承諾を得た上で、就労支援機関、医療機関、社会福祉機関等と連携を取っています。必要であれば、当所でも実施している臨床心理士の面接にもつながります。

当所の利用者には、一度は就職の経験がある方が多く就活しただけでなく、新卒で就活を取れなかった方、高校を中退してその後、進路を決められないという方など様々な方がいらつしやいます。御家族からは引きこもり状態にあるお子さんの相談もあります。それぞれの悩

みを抱えて来所されます。まずは、利用者の今の現状の課題を利用者と共通理解します。また、相談を通して利用者が自分自身や仕事・進路への理解を深めていくことも重要になります。支援の基本的な考え方は、利用者の長所を生かすということです。利用者から「できること」「やってきたこと」などを聴きながら個々の長所や得意なことを確認します。自己理解を深めることで、進路決定へのモチベーションを高めます。

「サポステはままっつ」では、就労・進学などの進路決定のために、独自の支援策として、「ソーシャルスキルトレーニング」を実施しています。これは、コミュニケーションに自信のない若者が、社会性を身に付けるためのもので、週1回、計5回で1セツトの内容となっております。(通年で実施) @ryu.ocn.ne.jp

「山」の村」だより  
4月の中旬、平地では葉桜となり、新緑の時期を迎えますが、ここ富士山麓の村では、日中の外気温が10度前後です。管理棟(事務室)の窓辺に設置した「ヒマワリの

「山の村を知ろう!」  
「山の村たいけん」  
地域の方や県民の方に、幅広く山の村を知ってもらうために、平成21年度から毎年10月に「山の村たいけん」を行っています。昨年は、例年行っている創作活動、野外炊飯(バーベキュー)、

自然観察・ハイキング  
今年も10月21日(日)に「森の中のコンサート」を含めて同様の内容で「山の村たいけん」を行う予定です。深まる秋の一日を山の村で過ごし、富士山麓の豊かな自然を満喫してはいかがでしょうか。



仕事のイメージを養う「職場見学」

「サポステはままっつ」では、一人一人に合わせた支援をするために、キャリア・コンサルティング等の専門家が個別に相談を行い、利用者に合わせた支援メニューを考えています。相談承諾を得た上で、就労支援機関、医療機関、社会福祉機関等と連携を取っています。必要であれば、当所でも実施している臨床心理士の面接にもつながります。

「サポステはままっつ」では、就労・進学などの進路決定のために、独自の支援策として、「ソーシャルスキルトレーニング」を実施しています。これは、コミュニケーションに自信のない若者が、社会性を身に付けるためのもので、週1回、計5回で1セツトの内容となっております。(通年で実施) @ryu.ocn.ne.jp



「山の村を知ろう!」  
「山の村たいけん」  
地域の方や県民の方に、幅広く山の村を知ってもらうために、平成21年度から毎年10月に「山の村たいけん」を行っています。昨年は、例年行っている創作活動、野外炊飯(バーベキュー)、

自然観察・ハイキング  
今年も10月21日(日)に「森の中のコンサート」を含めて同様の内容で「山の村たいけん」を行う予定です。深まる秋の一日を山の村で過ごし、富士山麓の豊かな自然を満喫してはいかがでしょうか。



森の中のコンサート



自然観察・ハイキング



**「知りたい」「学びたい」「なりたい」を応援!**

あすなる図書室は、教育専門図書館です

「〇〇について調べることをライフレックにしています。資料はありま

すか?」「教員を目指しています。採用試験に向けて、過去の問題を知りたいのですが...」「高等

学校卒業程度認定試験を受けたのですが、どうすればよいですか?」「働

きながら司書教諭の資格を取得したいと考えています。どこで取得できますか?」

あすなる(総合教育センター)図書室には、県民の皆様からの生涯学習に関するお問い合わせに応える生涯学習アドバイザーが常駐しています。広い見識を持ったアドバイザーが、皆さんの「知りたい」「学びたい」「なりたい」をサポートします。

教育関係図書資料が充実! あすなる図書室は、教育専門図書館として、教育関係図書約3万8千冊、教育資料約15万点を所蔵しています。

その内、教育関係雑誌は約90タイトルを揃え、教育に関する最新の情報を提供しています。中には、「初等教育資料」のように昭和28年から続く雑誌なども充実して、バックナンバーも充実して

ます。閲覧はもちろん、平成12年以降の雑誌は貸出しも可能です。温故知新という言葉に当たること、新たな見解を見い出せるかも知れません。

展示中の本に注目! 今話題の本、開催されている研修に関連する本センター所長お薦めの本などを、館内の特設コーナーに展示しています。

紹介されている本の中には、齊藤喜博や大村の著書など、教育の本質を考える上で不朽の名著と呼んでも過言でないものもあります。数十年前に書かれたものでありながら、今日的な教育課題を解決する上で大きな示唆を与えてくれます。

このように、数多くの蔵書の中からお薦めした本を展示し、皆さんと本の出会いをサポートしています。

あすなる図書室の本は、皆さんの住まいや職場などの最寄りの公立図書館で、借りることも返すこともできます。

あすなる図書室の本を借りたい場合は、最寄りの公立図書館で借りたい本を伝えてください。そうすれば、その図書館が



おすすめ本を紹介する展示コーナー

**青少年の健やかな成長をめざして**  
7月は「静岡県青少年の非行・被害防止強調月間」です。

**青少年の非行・被害の状況**  
平成23年までに不良行為※により補導された少年の人数は、3年連続で大幅増となりました。行為別では、深夜はいかいが最も多く、全体の56%を占めています。これは、犯罪に至る前の段階で適切に指導するために、街頭補導活動を強化したことが要因の1つですが、補導された少年は氷山の一角にすぎません。

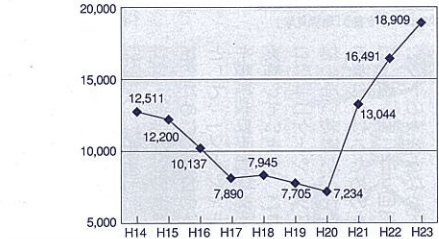
- (4)不良行為及び初発型非行(犯罪)の防止
- (5)再非行(再犯)の防止
- (6)いじめ・暴力行為等の問題行動への対応
- (7)青少年の福祉を害する犯罪被害の防止
- (8)「地域の青少年声掛け運動」の推進

また、インターネット上のサイトに関係した事件や児童虐待事件等による子どもの被害は跡を断たず、さらにはじめの問題など、青少年の非行防止、保護の両面において予断を許さない状況となっております。

**教職員として、親(保護者)として、地域の大人として**  
青少年の健やかな成長には、大人の関わりが重要です。この強調月間を契機として、私たち大人自らがその責任を自覚し、地域社会全体で青少年を温かく見守り、支え育てる環境をつくりましょう。

**地域が一体となった取組を**  
青少年の非行及び被害防止を図るためには、学校を含めた関係機関・団体と地域とが相互に協力・連携し、一体となった取組を進めることが必要です。

不良行為少年の補導人数の推移(平成14年~23年)



- 重点課題**
- (1)インターネット利用に係る非行及び犯罪被害防止対策の推進
  - (2)有害環境への適切な対応
  - (3)薬物乱用対策の推進

**県立中央図書館子ども図書研究室講演会**  
**子どもの科学の本を知る**

子どもたちを科学の世界へ誘う科学の本についてお話をさせていただきます。ぜひ御参加ください。

■講師 塚原博さん(実践女子大学教授)  
長らく科学あそびの普及・実践をなさっています。

■日時 7/20(金)13時~15時

■会場 県立中央図書館講堂

■定員 100人(先着順)

■申込み方法  
氏名(ふりがな)、電話番号を電話、FAX又はEメールで

問・申 企画振興課  
TEL054-262-1246 FAX054-264-4268  
Eメール webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp

**EDITOR**

今年度より教育委員会事務局へ配属になり、Eジャーナルしずおかを編集させていただきます。よろしくお願いいたします。

Eジャーナルは、県立中央図書館のコーナーは興味深く拝読しています。

このコーナーは、教育関係の仕事などの情報は、教育関係の仕事

**探検!発見!**  
**県立中央図書館のバックヤード**  
**《書庫開放》のお知らせ**

普段入ることのできない県立中央図書館の閉架書庫に入ってみませんか。

この書庫内の図書(約32万冊及び雑誌(約9万タイトル)を直接手に取って御覧いただけます。当館では資料を永久保存しているため、昔の図書・雑誌がたくさんあります。

例えば、あの「現代用語の基礎知識」は、昭和24年の創刊号から最新号まですべて揃っています。

各回先着15名、参加無料。どなたでも参加できます。(小学生以下は保護者同伴)

※要申込(前日まで)

\*貸出カードをお持ちでない方は当日作成してください。

【日程】6月22日(金) 13時30分~16時00分  
申込電話 FAX、Eメール  
申込 11月4日(日) 第3回

県立中央図書館資料課  
TEL054(2)621243  
TEL054(2)644268

※詳細はHPを御覧ください。

**めさせ「ぶのくに」の頂点を!**  
**「ぶのくに」芸術祭2012**  
**作品・参加募集!**

今年度52回目を数える県内最大の総合芸術祭「ぶのくに」芸術祭は、県民の皆さん誰もが参加できる芸術祭です。ふるって御応募、御参加ください。

■美術部門  
美術展(平面・立体) 申込8/10金まで  
写真展 申込8/17金まで  
書道展 申込10/9火まで

■文学部門  
文学コンクール 申込9/7金まで

■音楽・舞台芸術部門  
合唱コンクール 申込10/29月まで  
演劇コンクール 申込は公演の60日前まで

各部門の優秀作品には、静岡県芸術祭賞、後援者賞、奨励賞、準奨励賞を授与します。詳細は、市町の図書館や公民館等に置いてある募集要項を御覧ください。

TEL054(2)212254

**「食」を通して親子のコミュニケーション向上を!キッチンから家族の絆を。**

**ぜび、学校での課題としてご利用ください**

応募された方にれもなく図書カード(500円分 1組1枚)プレゼント

ご応募多数の学校には「学校賞」をご用意しております。

**9/30(日)県内5会場地域予選大会**  
**静岡県内の参加親子大募集!**

応募受付期間 2012年6月19日(火)~9月2日(日)

応募用紙はホームページからダウンロードできます  
http://www.gas.or.jp/shokuiku/

お問い合わせ 静岡県大会運営事務局  
静岡ガス内 054-284-7980  
(お気軽にお問い合わせください)

応募用紙記入例

学校での活動の推進などにより、食育への関心は高まり、昨年は静岡県内で2489組(全国で約20837組)の応募をいただきました。クラスで夏休みの課題として応募していただいた学校もありました。

(小学校の先生たちの声から)  
「コンテストに応募して、子供達が夏休みに親子で考えた料理を提出してもらいました。子供達の努力を無駄にしないため、学校独自で冊子にして全生徒に配布しました」

主催 静岡県大会 静岡県ガス協会(全国大会 ウィズガスCLUB) / 後援 内閣府 総務省 文部科学省 静岡県 静岡県教育委員会 全国家庭科教育研究会 静岡県栄養士会 しずおか健康いきいきフォーラム21ほか